

日本分析化学会九州支部

# 支 部 ニ ュ ー ス

第 37 号 2018 年 3 月

九州支部ウェブサイト

[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/)

2017 年度 日本分析化学会九州支部

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1

熊本大学大学院 先端科学研究部 基礎科学部門 化学分野

# 新旧支部長からのごあいさつ

## 支部長就任のご挨拶

日本分析化学会九州支部の皆さま、こんにちは。2018年度支部長を務めさせていただき、佐賀大学 高椋利幸です。前任の戸田 敬先生は熊本大学理学部化学科の2年先輩にあたり、そのようなご縁もあったので小職が支部長の襷を引き継ぐことになりました。佐賀大学が中心となって支部執行部を担当するのは、2002年以來となります。当時、私は田端正明支部長のもと庶務幹事を務めておりました。お陰様で、多くの九州支部の皆さまとお知り合いになれたことを今でも幸いに思っております。しかし、あれからすでに16年の月日が経過しており、また、今回は支部長という重責であることから初心に戻って気を引き締めて担当させていただき所存でございます。副支部長として、九州大学 森 健先生、産総研 松田直樹先生にご協力いただきます。また、庶務幹事は佐賀大学 梅木辰也先生、会計幹事は佐賀大学総合分析実験センター 真瀬田幹生さんが務めます。これらの先生方とともに執行部を組織し、九州支部の運営に務めて参りますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



私は、これまで分析法や分析装置を新たに開発するような研究には携わっておらず、上記の学部学生時代も無機化学研究室に所属し、溶液中のランタノイド(III)イオンの錯形成平衡を研究しておりました。大学院は東京工業大学で大瀧仁志先生のご指導のもと非水溶媒中のカドミウム(II)イオンとチオシアン酸イオンとの錯形成を滴定カロリーメトリー法で熱力学的に、溶液×線回折法で構造化学的に解明しました。したがって、研究分野としてはベーシックな溶液化学となります。しかし、溶液化学も液体や溶液の状態分析であると思っています。正に、現在の研究はIR, Raman, NMR、それにX線や中性子を用いて幅広い視点から液体や溶液を状態分析し、相分離など物理現象のメカニズム解明を行っています。研究内容でお分かりかもしれませんが、かつて支部長を務められた石黒慎一先生や同じく福岡大学の山口敏男先生とは教員と学生という立場で同じ研究室で同じ時間を過ごさせていただきました。さらに、一旦、就職した企業から学位取得のために派遣された福岡大学では脇田久伸先生が指導教員でした。このような諸先輩方に囲まれておりますので、失態のなきよう円滑に支部運営を遂行できると大変緊張しております。特に、来年2019年5月18日(土)、19日(日)に、九州支部担当で第59回分析化学討論会を北九州市小倉北区で開催することになりました。九州工業大学 竹中繁織実行委員長とともに、盛会となりますよう準備を進めて参ります。

今年度、定例の支部行事といたしましては、5月19日(土)に福岡大学で第31回九州分析化学若手の会春の講演会が巴山 忠先生のお世話で開催され、第36回会夏季セミナーが7月27日(金)、28日(土)に植木温泉において熊本大学 北村裕介先生のお世話で実施されます。また、8月初旬には熊本大学 戸田 敬先生を実行委員長として第59回分析化学講習会が催されます。今年度から講習テーマを受講者が選択できる新しいシステムで実施します。11月16日(金)には、鳥栖市において幹事会、講演会、見学会そして懇親会を実施するべく松田直樹副支部長を中心に準備に取りかかっています。

これらの支部活動の実施のためには、九州支部の皆さまには、多々ご協力いただくこともあると思います。どうぞ、1年間よろしくお願い申し上げます。

(佐賀大学 高椋利幸)

## 支部長退任のご挨拶

2017年度、日本分析化学会九州支部長を務めさせていただいた熊本大学（理学系）の戸田 敬です。不慣れな中、皆様方にご協力いただきながら1年間務めることができました。まずはこの場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

さて、本年度は熊本地震の翌年で、会議も熊本大学のキャンパスに仮設として建てられたプレハブで開催され、幹事会や常任幹事会に来られた方は驚かれたかもしれません。まだまだ不便をとまなうキャンパスでしたが、例年通り行事をすすめることができました。

5月13日（土）に第30回九州分析化学若手の会・春の講演会が北九州国際会議場にて開催されました。本講演会は、佐藤しのぶ先生（九大院工）にお世話していただきましたが、王子田彰夫先生（九大院薬）、末田慎二先生（九大院情工）、麻見安雄先生（ティー・エイ・インストゥルメント）、長門石暁先生（東大医科研）の4名の先生による講演が行われ、蛍光プローブや熱分析の視点でみたバイオ分析を中心に、活発な討議が行われました。参加者は56名でした。また、7月28日（金）～29日（土）には梅木辰也先生（佐賀大院工）のお世話で第35回九州分析化学若手の会夏季セミナーがホテルパレンス小野屋（福岡県朝倉市・原鶴温泉）で開催されました。ちょうど九州北部豪雨で被災したばかりの地域であり、開催も危ぶまれましたが、幸い会場のホテルは直接の被害がなく無事行うことができました。ここでは、吉本敬太郎先生（東大院総文）、真栄城正寿先生（北大院工）による特別講演のほか、第54回化学関連支部合同九州大会でのポスター賞受賞者4名による模範ポスター発表ならびに九州分析化学奨励賞を受賞した中野雄太君（九大院工）、廣田和敏君（熊本大院理）による口頭発表も行われました。また、ポスター発表において7名の方が九州分析化学若手賞を受賞されました。

夏季セミナーから少し遡りますが、7月1日（土）に、第54回化学関連支部合同九州大会が北九州国際会議場にて行われました。分析化学部門では、高椋利幸先生（佐賀大院工）による依頼講演が行われました。また、54件のポスター発表があり、Willy Cahya Nugraha 君（熊本大院理）、弥永洋平君（九大院工）、中島生羽君（九大院工）、網屋祐輔君（九大院農）の4名が九州分析化学ポスター賞を受賞されました。

11月17日（金）には幹事会に続き、九州分析化学講演会ならびに見学会が行われました。講演会では、片山佳樹先生（九大院工）、内原博先生（堀場製作所）のお二人に「診断・創薬のためのプロテインキナーゼ分析法に関する研究」、「PM2.5による大気汚染の現状」というタイトルでそれぞれご講演いただきました。片山先生は九州分析化学会賞の受賞講演としてお話をいただきました。講演会終了後は、バスで阿蘇郡西原村の堀場エステック阿蘇工場に向かいました。阿蘇工場も2016年4月に大きな被害を受けたため、拡張も兼ねて新しい建屋を建設中のなか、ご対応いただきました。医療検査部門と半導体関連部門の製産ラインを見学させていただきました。その後バスで熊本市内へ戻り、情報交換会を行いました。この幹事会、講演会、情報交換会、見学会は、これまで2日間にわたって行われていましたが、2017年度は1日で執り行い、分刻みのかなりタイトなスケジュールになりました。しかし、みなさん満足して帰られ、私どもも安心しました。支部行事をとりしきる大事な会議とともに、分析化学関連の情報交換や刺激もあり有意義な1日となりました。みなさんの結束も高まったことと思います。

このほか、8月に分析化学講習会（実行委員長：竹中繁織先生）が開催され、また川上健次様（ジェイ・サイエンス西日本）を中心に5月（長崎）、10月（福岡）と1月（鹿児島）に機器分析ワークショップ、5月（熊本）と12月（水俣）にてインハウスセミナーをお世話していただき、九州地区における分析化学への理解や技術の向上に貢献することができました。



冒頭でも申し上げましたが、皆様のご協力のもと無事1年を過ごすことができました。また、井倉則之（九大院農）、内原博（堀場製作所）両副支部長、大平慎一庶務幹事、田中明会計幹事とスタッフに恵まれたこともありました。たいへん感謝しております。

3月からすでに2018年度の次期執行部に交代しています。佐賀大学の高椋利幸先生の下、九州支部の益々の発展を祈念いたします。

（熊本大学 戸田 敬）



在りし日の熊本城を  
一日も早く・・・



# 支部活動報告

## ❖ 第30回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

期日：2017年5月13日（土）  
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部  
会場：北九州国際会議場 21 会議室  
世話人：九州工業大学大学院工学研究院 佐藤しのぶ  
\*詳細は支部ニュース 36 号をご覧ください。

## ❖ 第54回 化学関連支部合同九州大会 ❖

期日：2017年7月1日（土）  
共催：日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部  
会場：北九州国際会議場  
\*九州分析化学ポスター賞 4 件を選出しました。  
大会の詳細は支部ニュース 36 号及び WEB サイト (<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) をご覧ください。

## ❖ 第35回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

期日：2017年7月28日（金）～29日（土）  
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部  
会場：ホテルパーレンス小野屋（福岡県朝倉市）  
世話人：佐賀大学大学院工学系研究科 梅木辰也  
\*九州分析化学若手賞 7 件、ベスト質問賞 2 件を選出しました。詳細は支部ニュース 36 号をご覧ください。

## ❖ 第58回 分析化学講習会 ❖

期日：2017年8月8日（火）～10日（木）  
主催：日本分析化学会九州支部  
共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会  
会場：九州大学伊都キャンパス、福岡市産学連携交流センター、福岡大学理学部

実行委員長：九州工業大学大学院工学研究院 竹中繁織

\*実習内容の詳細及び講習会の様子は支部ニュース 36 号をご覧ください。

## ❖ 機器分析ワークショップ ❖

### ● 機器分析ワークショップ 2017 in 長崎

期日：2017年5月24日（水）  
主催：日本分析化学会九州支部  
協賛：(株)ジェイ・サイエンス西日本、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)、(株)西村商会  
会場：長崎大学薬学部（講義棟）2F 第二講堂  
\*詳細は支部ニュース 36 号をご覧ください。

### ● 機器分析ワークショップ 2017 in 福岡

期日：2017年10月27日（金）  
主催：日本分析化学会九州支部  
協賛：サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、(株)ジェイ・サイエンス西日本  
会場：福岡大学 中央図書館 1F 多目的ホール  
講演：

・サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)エレメンタル事業部 牧 喬司 「高分解能高感度、二重収束型 ICP-MS (ELEMENT 2/XR) のご紹介及び四重極型 ICP-MS (iCAP TQ と iCAP RQ) の紹介」

・鹿児島大学大学院理工学研究科 高梨啓和 「高分解能フーリエ変換型質量分析計 Orbitrap と超高感度三連四重極型質量分析計を組み合わせた無標準 LC-MS/MS 測定」

・(株)ジェイ・サイエンス・ラボ技術部ガス交換部 西口講平 「ICP-MS 気体導入システム (GED) による浮遊粒子中の金属及びガス状金属 (Hg 他) のリアルタイム測定」

### ● 機器分析ワークショップ 2018 in 鹿児島

期日：2018年1月19日（金）  
主催：日本分析化学会九州支部

協賛：(一財)化学物質評価研究機構、サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、(株)ジェイ・サイエンス西日本  
会場：鹿児島大学産学官連携センター2F

講演：

・サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)エレメンタル事業部 牧 喬司 「高分解能高感度、二重収束型 ICP-MS (ELEMENT 2/XR) のご紹介及び四重極型 ICP-MS (iCAP TQ と iCAP RQ) の紹介」

・(株)ジェイ・サイエンス・ラボ技術部ガス交換部 西口講平 「ICP-MS 気体導入システム (GED) による浮遊粒子中の金属及びガス状金属 (Hg 他) のリアルタイム測定」

・鹿児島大学大学院理工学研究科 高梨啓和 「高分解能フーリエ変換型質量分析計 Orbitrap と超高感度三連四重極型質量分析計を組み合わせた無標準 LC-MS/MS 測定」

・(一財)化学物質評価研究機構 坂牧 寛 「逆相 HPLC の基礎理論と最新のノウハウ」

#### ❖ 新技術インハウスセミナー ❖

● ICP-MS 用気体試料導入システム GED (Gas Exchange Device) による実試料の測定

期日：2017年5月16日(火)～17日(水)

主催：日本分析化学会九州支部(熊本地区)

共催：(株)ジェイ・サイエンス西日本/(株)ジェイ・サイエンス・ラボ

会場：熊本大学薬学部附属創薬研究センター

\*詳細は支部ニュース36号をご覧ください。

● LC-MS・インハウスセミナー

期日：2017年12月7日(木)

主催：(株)ジェイ・サイエンス西日本・熊本出張所

後援：日本分析化学会九州支部

協賛：サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)

会場：JNC 株式会社 水俣研究所 図書第3会議室

講演：鹿児島大学大学院理工学研究科 高梨啓和 「高分解能フーリエ変換型質量分析計 Orbitrap と超高感度三連四重極型質量分析計を組み合わせた無標準 LC-MS/MS 測定」、「日常メンテナンスの注

意点その他」

#### ❖ 2017年度九州支部講演会 ❖

期日：2017年11月17日(金)

主催：日本分析化学会九州支部

会場：熊本大学黒髪南キャンパス工学部 百周年記念館

講演：

1. 「診断・創薬のためのプロテインキナーゼ分析法に関する研究」

九州大学大学院工学研究院応用化学部門 教授 片山佳樹

(2017年度九州分析化学会賞受賞講演)

2. 「PM2.5による大気汚染の現状」

(株)堀場製作所開発本部第2製品開発センターアプリケーション担当部長 内原 博



片山先生



内原先生

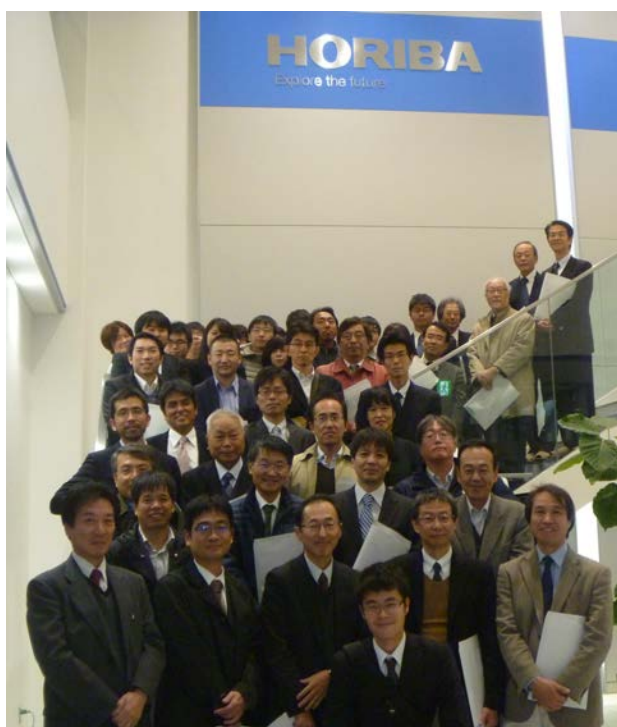
講演会終了後、バスにて(株)堀場エステック阿蘇工場に移動し、見学会が開催されました(後述)。

## ❖ 2017年度九州支部見学会 ❖

2017年11月17日、熊本大学で開催された九州支部講演会の後、(株)堀場エステック阿蘇工場に移動し見学会が開催されました。参加者は、講演会にて講演いただきました、片山先生を始めとして、講演会に参加していただいた各大学等の先生並びに学生諸氏で、およそ40名でした。

はじめに玄関吹き抜けで記念写真撮影が行われました。その後、2グループに分かれて、医療検査部門と半導体関連部門の製造現場の見学が行われました。熊本地震で建屋も大きな被害を被り、新棟の建築も当初計画より遅れて製造ラインも手狭になったままでしたが、堀場エステック様のご厚意により見学会に協力していただきました。

なお、(株)堀場エステック阿蘇工場の紹介につきましては、支部ニュース36号をご覧ください。



堀場エステック阿蘇工場にて

## ❖ 共催等 ❖

● 第10回日韓ジョイントシンポジウム  
期日：2017年11月19日(日)～21日(火)  
主催：九州工業大学バイオマイクロセンシング技術  
研究センター

共催：日本分析化学会九州支部  
会場：北九州国際会議場

● 日本中性子科学会第17回年会  
期日：2017年12月2日(土)～3日(日)

主催：日本中性子科学会  
共催：日本分析化学会九州支部ほか  
会場：福岡大学

## ❖ 会議等 ❖

● 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

期日：2017年6月3日(土)  
会場：熊本大学黒髪南キャンパス 理学部1・2号  
館1階大会議室

\*2017年度九州分析化学会賞受賞者1名、九州分析化学奨励賞受賞者2名については支部ニュース36号をご覧ください。

● 2017年度第1回常任幹事会

期日：2017年6月17日(土)  
会場：熊本大学黒髪南キャンパス 仮設校舎D棟  
2階会議室B

● 学会賞等候補者推薦委員会

期日：2017年11月17日(金)  
会場：熊本大学黒髪南キャンパス 仮設校舎D棟  
2階会議室B

● 2017年度幹事会

期日：2017年11月17日(金)  
会場：熊本大学黒髪南キャンパス 仮設校舎D棟  
1階会議室A

● 2017年度第2回常任幹事会

期日：2018年2月17日(土)  
会場：熊本大学黒髪南キャンパス 理学部1・2号  
館2階小講義室

# 本部関連

## ❖ 第78回 分析化学討論会 ❖

期日：2018年5月26日（土）～27日（日）  
会場：山口大学常盤キャンパス（山口県宇部市）  
実行委員長：中山雅晴（山口大学大学院創成科学研究科）

討論主題：

1. ペーパー分析デバイスの潮流  
オーガナイザー：金田 隆（岡山大）
2. 構造解析と状態分析の融合  
オーガナイザー：早川慎二郎（広島大）
3. 産業競争力の強化に資する微小領域における計測技術  
オーガナイザー：安達健太（山口大）
4. 地域環境と高リスク物質のモニタリング  
オーガナイザー：今井昭二（徳島大）
5. 核酸・蛋白質を/で分析する  
オーガナイザー：紙谷浩之（広島大）
6. 電気化学的センシング技術の新展開  
オーガナイザー：上田忠治（高知大）
7. 流れ分析法と新規デバイスの開発  
オーガナイザー：田中秀治（徳島大）
8. 進化するカラムテクノロジーとその応用  
オーガナイザー：西 博行（安田女子大）

\*詳細は以下のWEBサイトをご覧ください。

<http://conference.wdc.jp.com/jsac/touron/78/index.html>

## ❖ 日本分析化学会 第67年会 ❖

期日：2018年9月12日（水）～14日（金）  
会場：東北大学川内キャンパス（宮城県仙台市）  
実行委員長：末永智一（東北大学大学院環境科学研究科）

\*本会のWEBサイトは4月中旬に公開予定です。

## ❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を

信じて世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGEによるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci.誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci.誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci.誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

## ❖ 2018年度 支部からの役員 ❖

理事：肥後盛秀（鹿児島大院理工）  
代議員：富永昌人（佐賀大院工）、片山佳樹（九大院工）、井原敏博（熊本大院先端科学）、佐藤 博（長崎国際大薬）、松井利郎（九大院農）、松森信明（九大院理）、光井康浩（京都電子工業）

編集委員：

「ぶんせき」井上高教（大分大工）  
「分析化学」藪下彰啓（九大院総理工）  
「Analytical Sciences」巴山忠（福岡大薬）

## ❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。



# 今後の支部活動計画

## ❖ 支部活動・事業予定 ❖

### ● 第31回 九州分析化学若手の会 春の講演会

期日：2018年5月19日(土) 13:30~

会場：福岡大学中央図書館多目的ホール

講演：

「生体分析試薬としてのキノンの利用」

(長崎大院薬) 岸川直哉

「同位体希釈質量分析法を用いたヒトインスリン認証標準物質の開発」

(産総研) 坂口洋平

「質量分析計を用いた生理活性低分子ペプチドの体内吸収性評価」

(九大院農) 田中 充

「質量分析を用いた高精度・高感度メタボロミクスの開発」

(静岡県大薬) 水野 初

世話人：巴山 忠(福大薬)

### ● 第55回 化学関連支部合同九州大会

期日：2018年6月30日(土)

会場：北九州国際会議場(北九州市)

発表申込期間：3月1日(木)~4月11日(水)

予稿原稿締切：5月11日(金)

発表形式：特別講演(1件)、依頼講演(8件)、一般講演(ポスター発表のみ)

支部推薦依頼講演：

「マレイミド-メタノール混合系に観る準静的および不可逆的結晶膜生成過程と構造」

(鹿児島大院工) 吉留俊史

代表世話人：大嶋孝志

(九大院、有機合成化学協会九州山口支部支部長)

\*詳細は下記WEBサイトをご覧ください。

<http://godo-kyushu.xsrv.jp/godo/index.html>

### ● 第36回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー

期日：2018年7月27日(金)~28日(土)

会場：植木温泉 荒川観光ホテル(熊本県熊本市北区植木町田底6、TEL 096-274-7201)

内容

・九州分析化学若手の会総会

・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

・依頼講演(2件)

東北大学 佐藤雄介

産総研 加藤 大

・企業セミナー(2件)

日本ウォーターズ(株)、横河電機(株)

・模範ポスター発表(九州分析化学ポスター賞)

・一般ポスター発表

・懇親会

参加費：一般 ¥9,000、会員学生 ¥8,500、非会員学生 ¥9,000(予定)

世話人：北村裕介(熊本大院先端科学)

## ❖ 2018年度 支部執行部・役員 ❖

### ● 執行部

支部長：高椋利幸(佐賀大院工)

次期支部長：浜瀬健司(九大院薬)

副支部長：森 健(九大院工)

松田直樹(産総研九州セ)

監査：戸田 敬(熊本大院先端科学)

内原 博(堀場製作所)

庶務幹事：梅木辰也(佐賀大院工)

会計幹事：真瀬田幹生(佐賀大総合分析実験セ)

### ● 常任幹事(13名)

(九工大・福教大) 竹中繁織(九工大院工)

(九大院工) 加地範匡(九大院工)

(九大院理) 竹原 公(九大院理)

(九大院薬・第一薬大) 増田寿伸(第一薬大)

(九大院農・九産大・福女大)

石川洋哉(福女大)

(九大筑紫・近大産理工)

稲田 幹(九大中央分析セ)

(福岡大) 巴山 忠(福大薬)

(佐賀) 宗 伸明(佐賀大院農)

(長崎・熊本) 大庭義史(長崎国際大薬)

(長崎・熊本) 井原敏博(熊本大院工)

(大分・宮崎) 大島達也(宮崎大院工)

(鹿児島・沖縄) 神崎 亮(鹿児島大院理)

(企業・官公庁) 川上健次((株)ジェイ・

サイエンス西日本)

# 事務局より

## ❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

### ▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文も可）の正本1部、写し9部（計10部）を4月末日までに支部長に送付。

### ▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合においては満35歳未満の者。非会員は受賞時までに日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4紙2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）を指定期日（受付期間：4月1日～4月30

日）までに支部長に送付。

\*募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

## ❖ 編集後記 ❖

日毎に暖かな日差しを感じる時間も長くなり、春の訪れを感じる季節となりました。この37号の支部ニュースの発行を持ちまして、私の副支部長の任も終わりとなります。

戸田支部長を筆頭に、大平庶務幹事、田中会計幹事の如才無い支部運営に助けられ、なんとか一年を終えることができました。また、内原副支部長にも支部見学会などで大変お世話になり、良い一年を過ごさせていただきました。大学側副支部長としては大した仕事もできず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

2018年度の大学側副支部長は九州大学大学院工学研究院の森健先生です。先生はアイデア豊富な方ですので、きっと会員の方々も楽しめる一年になると思います。高椋支部長をはじめとして、梅木庶務幹事、真瀬田会計幹事のもと、九州支部がさらに発展していくことを祈念しております。

最後になりますが、会員の皆様には一年間のご支援に感謝いたしますと共に、次年度も日本分析化学会九州支部への一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

（副支部長 井倉則之）



2017 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1  
熊本大学大学院 先端科学研究部 基礎科学部門 化学分野

支部長	戸田 敬 (熊本大学大学院先端科学研究部) todakei@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3389
副支部長	井倉 則之 (九州大学大学院農学研究院) igura@agr.kyushu-u.ac.jp / 092-642-3016
副支部長	内原 博 (株式会社堀場製作所) hiroshi.uchihara@horiba.com / 075-325-5834/075-315-9525
庶務幹事	大平 慎一 (熊本大学大学院先端科学研究部) ohira@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3384
会計幹事	田中 明 (熊本大学大学院先端科学研究部) tanaka@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3375